

## 第1回 自転車活用促進・ツーリズム推進部会

日時：令和6年7月26日（金）14：00～

場所：徳島県庁11階 審問室

### ～ 議 事 概 要 ～

- 議事（1）部会概要、「自転車王国とくしま」の推進について
- （2）その他

（事務局）

【資料1】により説明

（山中部会長）

【資料「サイクルツーリズムの展開」】により説明

（越智随行）

【資料「徳島市自転車活用推進計画 概要版」】により説明

（森代理）

10月6日に那賀川流域センチュリーランと同じ日にはなるが、第1回大川原高原ヒルクライム2024の開催を予定している。今後の開催において、県の方からも説明があったが、県内ライドイベントについて、開催日が重ならないよう、今部会で調整ができたと思う。

（山中部会長）

ロングライドのイベントを開催する時は、開催日の調整が一番重要である。今後いろいろと新しいライドイベントが始まる予定なので調整をしていくように。

（藍原部会員）

小松島市でも、徳島市と鳴門市に続き、地域版の自転車活用推進計画の策定計画を進めているところ。昨年度から下準備を進め、この8月から策定会議を立ち上げ、今年度中の策定を目指し、会議を3回程度開催しながら、自転車の活用促進、スポーツの振興、健康増進、交通安全等、いろいろな内容を織り込みながら計画を策定しようと思っているので、またご協力を賜りたく思う。

（山中部会長）

徳島市、鳴門市と続き、県内で3つ目の活用推進計画となるということで。

（濱田部会員）

令和3年3月に本市でも自転車活用推進計画を策定し、本計画においては、自転車フレンドリーなまちづくりをコンセプトとし、自転車の活用推進に取り組むこととしている。イベントにはなるが、11月に本市のサイクル月間として設定をしており、11月3日、語呂合わせにはなるが、イイサイクリングの日ということで、毎年この日にイベントを実施する予定としている。今年度も前園さんをお呼びしてイベントを開催する予定。11月がサイクル月間ということで、鳴門市内の風景や自転車の写真をInstagramに投稿して、鳴門やサイクルの魅力を発信するイベント「鳴門サイクルピクニック」というものを開催し、優秀賞には何か景品を贈呈する予定。

(山中部会長)

ロゲイニングみたいなものか。みんなバラバラで動いて写真を撮るみたいなものか。

(濱田部会員)

個人で動いていただいて、自由に投稿いただいて、その中から市で審査するという形。

(原井代理)

来年の10月予定でMt. 高越ヒルクライムレースの開催準備を進めているところ。今年度は、準備委員会を立ち上げて、吉野川市民を含め、自転車文化の醸成、自転車を知っていただくようなイベント、サイクルートの策定等としながら、我々も先進地の視察に行かせていただいたりと準備を進めているところ。今年度は、ハード面についても、高越山山頂までの道の点検等、本市の建設部門及び県の方で道路の補修等のお願いもしているところ。また来年度に向けてご協力を賜りたく思う。

(山中部会長)

10月は決定か。

(原井代理)

あくまでも予定。

(山中部会長)

他のライドイベントと重なりそう。また日程については共有いただけたら。大体行政がイベントをすると、どうしても10月、11月に重なってしまう。国は自転車の月間を5月に設定しているが、なかなか難しい。

(中西部会員)

資料3枚目の子ども向けライドイベントに記載のあるキックバイクについて、都会部では下火になっていたが、今新たに盛り上がりを見せて、前回横浜のトライアスロン大会でキックバイクの試乗会を開催した時に、400×2日の子ども達が来たという結果が出ている。子どもが一人で来ることはないため、親と一緒に来るということで、1,200人ぐらいの来場があったと考察されていて、本県でもキックバイクをもう一度見直したほうがいいと思っている。場所がどこでもできるというのが利点。狭い場所でも可。なので、これを進めていくことは私自身前向きに考えている。

併せて、BMXになるとできる場所がない。鳴門市のサイクルベースがあるところはスケートボードだけで、ウチノ海総合公園もスケートボード設計。今部会の委員である森崎さんの道場という形は個人所有になり、公共の場所でできるのは、沖洲の外環の高架下の空間を2回、私が営む自転車店のイベントで使用させてもらったが、1回目の時は県主導で行われ、何も問題はなかったが、2回目は私どもが借りたという形になっており、そこで問題点を感じたのでお伝えする。

道路占有管理システムというものにWEBで入るのだが、これは主に土木工事をメインに考えられているシステムで、私たちが知らない言葉、土木工事の専門用語がかなり出てきて、その都度電話して聞かないと分からない。これは、開かれた利用には全く即していないと思う。やり方を変えるか、1回目借りたら、2回目はもう必要事項が埋まっているようなシステムを組んでいただくともっと使いやすくなるはず。ただ、問題点もあると思う。近くにマンションが多く、音の問題等もあるため、そこをその管理システムの中でどういう風に音を減らしていく、努力していくのか、みたいな質問を入れてもいいのかなと思う。

あと時間の問題だが、私どもが借りた時、申請に1ヵ月かかった。文言が分からないというのも

あるが、2ヵ月または3ヵ月ぐらい前から準備をしていかないとフライヤーとかで告知がしにくい。もう少し申請に時間が短縮できればと思う。

また、この施設はトイレがない。公園ではないため、トイレが必要なかどうかは問題だが、仮設トイレを使用しなければ、近隣のスーパーマーケットのトイレを借りるみたいな行為になってしまう。子連れのイベントであれば、ここ使ってくださいね、ぐらいのトイレがあると利用者としてはありがたい。

もう1点追加で、最後のA3の資料でサイクルガイドの育成について、徳島県でサイクルガイドを育成となるとかなり広範囲である。自転車で徳島を一周しようとする2泊3日の「Go aroundコース」みたいな日程になるか、サイクル・キャビンなど、自転車と四輪を組み合わせたやり方をしなければならない。ガイドも全部が全部できるわけではない。私自身も、鳴門、徳島、小松島、国府ぐらいがガイドできるが、日和佐、佐那河内で行えるのかと言われると否。そこでエリア別のサイクリングガイド育成というのを考えてみたらいかか。現状、県南にはまだサイクリングガイドが0名。もう既にやられている民間のガイドさんを認定していく方法もあるのでは。

目標として、鳴門市、板野町の県北。徳島市、小松島市、石井町の県央。三好市、美馬市の県西。そして県南ぐらいの4エリアぐらいのエリア認定をしていかないと、今部会でこのガイドさんお願いしますって言っても、全然分かりません、みたいなミスマッチが起こると思う。広域サイクリングルートで、今、徳島の肝は鳴門市になる。自転車の玄関口が鳴門市になってくる。いかに鳴門市に圏域を分かっているガイドさんを配置できるのかが大切なところになるのでは。

併せて、グルメについて、徳島にあるグルメで、業者さんをお願い、ご協力いただきたいのが、徳島の1つのグルメとして徳島ラーメンがあるが、フルサイズしかない。サイクリストは1日に何軒か回りたいもの。私たちも香川にうどんを食べに行けば7軒も回る。香川には一玉よりちょっと少ない、かけ、熱、冷、味変がある。徳島にもそういう回るような感覚のラーメンのサイズがあればいいのと思う。県外の、特に霞ヶ浦の辺りで多いのは、ワンハンドグルメという、自転車に乗りながら片手で食べられるグルメ。そういう開発をお願いしても県外客から喜んでもらえるのでは。

サイクルイベントについて、令和9年度の開通の時に、鳴門市でサイクル EXPO をしたらいいと思う。一気にお客さんが増える。自転車を基軸にした EXPO。過去1回鳴門市で、大塚のスポーツパークで実施したことがある。そこを起点にして EXPO みたいな形をすると、徳島の人も認知ができるし、県外の方も遊びに来ていただける。特に E-BIKE、ミニベロ、グラベルの試乗という面でみると、やはり小売店がやるよりかはメーカーに来ていただかないと規模が大きいため、中々できない。かなり大きな規模にしてあげるとメーカーが協力しやすくなる。特に鳴門市は、メリダさんと包括提携されていたと思うため、メリダさんを起点にしてメーカーを呼んでくることもありかなと思う。

(事務局)

いただいたご意見については、またいろいろと検討を進めていく。

(山中部会長)

BMX はフラットな場所がいいのか。

(中西部会員)

何もない、真っ平らな場所でやるのが望ましい。

(森崎部会員)

自分がやっているのは、平らな場所。オリンピック競技は、パークライド、スケートパークで行う。

(中西部会員)

パークはお金がかかる。作ってしまったでも維持がすごく大変。真っ平らな所でいい。子どもをメインに。

(山中部会長)

レースはまた別か。

(森崎部会員)

レースはもうちょっと大がかり。ダートコースとか。

(山中部会長)

名古屋が競輪場の横の公園で国際基準のレース場を作ると言っていた。

(中西部会員)

4年に1回あるアジア大会が愛知であるため作るもの。

あと1点、ヘルメットの着用率を上げる必要がある。今部会がその一翼を担っていると思うため、ぜひ県警と徳島新聞社さんも一緒に啓発をどんどんこれからやっていかないと。

(山中部会長)

愛媛県は、高校生と高齢者の着用率が上がっている。

(森崎部会員)

先ほどの高架下について行ったことがないが、雨天時でもBMXはできるのか。アスファルトは。

(中西部会員)

きれいな場所で、雨天時でも半分くらい濡れない。アスファルトも荒くない。

(森崎部会員)

キックバイクとかは、結構接触して絡まって転んだりするため、あんまり荒れたアスファルトだと擦過傷がひどいを見たことがある。プロテクターをつけるなど気をつけた方がいい。

(山中部会長)

去年ガイド認定されたショーンさんは今どんな感じか。

(ショーンオブザーバー)

9月に私が考えたコースでイベントを行う予定。

徳島県のお遍路さん、鳴門の酒屋さん、醤油屋さんを回るようなツアー。

(山中部会長)

ショーンさん含め、昨年4名ガイドを認定しており、これから受入できる人は増えていく。あとは、その人たちを繋ぐ役、観光で繋ぐのか、観光会社みたいなもので繋ぐのか、どういう形で繋ぐのかが全国で今議論になっている。地元の旅行会社みたいなところが繋いでいくみたいな、ウェブサイトなんかで依頼を受けて、実際にガイドしてくれないか、とガイドに頼む役の人。

(久米部会員)

自転車自体がサステナブルな移動手段である。外国人向けにもいいコンテンツにも十分なり得るかなと思う。

ただ、移動に伴って、通過点に終わってしまうところもあつたりして、いかにお金を落としてもらえるのかという仕組みも一緒に考えていくべきかなと思う。

(山中部会長)

今あちこちでファミリー、旦那さんが結構走る方で、その人の奥さんや子どもが連れてきても大丈夫な所を作っていくべきだと話はよく聞く。そうすると自然と休む、あるいは泊まるので、お金は落ちていくと。走りたい人はどんどん走ってしまうので、どうしても過ぎ去ってしまうというようなことは起きるが。外国人は特にそういう感覚で、まず旦那さんが来て現場を見て、走り、子ども達も楽しめると思ったら、次々連れてくる、というような話もあちこち聞く。徳島もラフティングとか、来て楽しくて、じゃあファミリーでみたい。その辺りを意識いただければ。最初に作るのはマニア向けでもいいと思う。ヒルクライムに旦那が来ても、その後にはファミリーで遊べるようなものがあるとか、そういうのが結構重要。そこでお金が落ちるので、ファミリー向けのサポートをやっていくというのが重要。

(日下部会員)

私たちのエリア県西部は、山が多くてかなりハードなコースだと思うが、時々外国の方が集団で、大歩危、吉野川のところから祖谷かずら橋の方にずっと登りのコースがあるが、そちらを20~30人ぐらいの方が登っているのを年に数回だけ見かける。ただ、非常に狭い道で、かなり危ないと思うので、そういうところの安全性を高めるのがいいかなと。外国の方で団体で来られて、元気な方はどんどん登るが、あまり体力がない方が途中で止まっていたりするので、ちょっと危ないなという印象がある。狭い道で、車でも結構坂がキツイところを自転車でたくさん登られている。

(山中部会長)

あのエリアは外国人にとってすごく人気。いろいろなツアーもやっているし。

(日下部会員)

ツアー前後をサポートカーで走って、どうしても登れない人をピックアップするというのも見かける。

(藤井部会員)

我々は第三種旅行業を持っていて、自ら旅行商品を作って販売している。自転車関係でいうと、ブルーサイクルラボの眞鍋さんと昔から付き合いがあり、うちのツアーの中でも協力いただいている。中西さんが先ほどおっしゃられていたように、ガイドには、安全なサイクリング、故障した時、体調不良になった時にケアできないといけないし、地元の紹介、この地域はこういう地域、人々がこんな生活をしていて、こんな農・海産物があつて、など両方の要素が必要だと思う。安全に自転車で案内するだけではだめ。それが自転車のノウハウを持った人が地域のことも喋れるのが一番理想だが、それが難しければ、自転車の専門、地域の案内専門のガイドと二人セットでツアーを作る形を目指す必要があると眞鍋さんとよく話をする。

また、眞鍋さんのところがミニベロ主体の取組をやっている中で、釣り道具をミニベロの後ろに積んで、県南の山の川のほうで釣りをして、昼間は観光しながら、夕方は海釣りに行きましょう、みたいな自転車と釣りを絡めたようなコンテンツを作っていきますか、みたいな話をしている。

あと、BMXの話で、県南で片岡さんという全豪の世界チャンピオンの方をご存じか。その方も皆さんがおっしゃる通り、実施する場所がないと。今うちは、阿南市の科学センターの敷地を使って、

片岡さんに子ども向けのコンテンツとして体験会をしていただいているが、中々場所がない。雨が降った時に特に困る。傷がつくから、体育館とか借りれず、民間さんから工業敷地を使ってくれと話があるが、場所が遠く難しい。

理事長ともいつも話をするが、今少子高齢化でどんどん子どもが少なくなり、学校の統廃合もどんどん進んでいる、今までは耐震化できていないところが廃校になることが多かったが、これから耐震化できている学校が廃校、閉校になるのが増えてくると思う、そういう学校の施設をいろいろなツーリズムの拠点として上手に活用できれば、と常々話している。

(森崎部会員)

小学校の体育館でも BMX はできる。よく部活動で BMX を取り入れたいと話が学校から来るが、部活動となると、通学用の自転車と BMX の両方を買うのは親にとってはハードルが高いのではと思う。また、通学用の自転車について指定されたものが多いが、自分で好きなように選べるようになると、サイクルツーリズムっていう部分で自転車に興味を持つ人が増えると思う。ママチャリは使い捨てと思っている。幼い頃から自転車に思い入れがあるような状況ができていくと、もっと自転車への愛が増す、移動で自転車を使おうという人が増えると思う。

(山中部会長)

徳島県で通学用の自転車の指定はあるのか。クロスバイクはだめとか。

(中西部会員)

高校ではない。ただ中学校はかなり多い。

(中西部会員)

キックバイクについては、競い合いができ、親が見ていても楽しいが、そこから次のステップがない。学校教育の中でも自転車がでてくるのは高校。高校の自転車競技みたいな形になるので、小中で自転車に触れることがなくて、その間を BMX で埋められないか、自転車をずっと乗っていくように、そうすると、ヘルメットも自然と必要なものと理解が広まっていくのでは、と。

(森崎部会員)

キックバイクは自転車への入り口という感じ。

(藤本代理)

ヘルメットの着用率向上については、警察としてもぜひお願いしたい。イベントに参加する方は着用していると思うが、参加されない方の着用率を上げたい。イベントなどで呼びかけていただいたり、私たちがキャンペーンとか参加させていただいたら、着用について呼びかけたい。

(中西部会員)

11月に徳島新聞社主催のサイクリングイベントがあるのでは。

(片山部会員)

別部署にはなるが、計画をしていると、今回はトライアル的にやるもの。具体的には聞いていないが。

(山中部会長)

鳴門市での開催か。

(片山部会員)

鳴門市での開催。弊社のほうで小学校を活用して整備したトナルの PR をできたら。大鳴門橋自転

車道開通後にぜひ、トナルのほうにも来ていただけるような形になればいいなど。

(山中部会長)

大鳴門橋からぐるっと鳴門を回るコースにトナルも入れてというように。

(片山部会員)

大鳴門橋自転車道開通後、皆さんが渡った後、どちらに行くのか気になる。先ほど、中西さんがおしゃっていたような何か大きな記念イベントとか、徳島が賑わうような、自転車道ができることによって徳島に何か誘致できるような大きな大会などが開催されると、県民も非常に喜ぶのではと思う。

(山中部会長)

県のほうでいろいろ計画してもらっているが、ぜひ今回の意見を踏まえ、事業展開してもらいたい。市町村も何か検討してもらい、自転車活用推進計画の策定や、サイクルイベント、子ども向けイベントの実施など展開いただけたら。今部会では、今後こういう形で検討を進めたり、イベントに調整や市町村で取り組みたい事業、お願いしたいことなどの共有の場としていけたらと思う。